



事務事業名	健康づくり推進協議会運営事業	事務事業No.	10201000316	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 昭和53年から、行政と市民その他関係団体が連携を図りながら、市民の保健に関する取り組みについて協議し、市民の健康の保持増進に寄与することを目的に協議会を設置し会議が開催されている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 乳幼児だけにかかわらず、高齢者のフレイル対策やがん検診向上等、健康寿命の延伸に係る事業を展開して欲しいとの要望がある。					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 行政と市民その他関係団体が連携を図りながら、市民の保健に関する取り組みについて協議し、市民の健康の保持増進に寄与することを目的としており、総合計画の基本理念「子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり」と結び付いている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 有識者や各団体・各世代の代表者に意見を伺い連携を図ることは、市民の健康づくりを推進するためには必要であり、公共関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 行政と市民・関係団体が協働で市民の健康づくりの取り組みについて協議する場であるため協議会における成果向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 行政と市民・関係団体が協働で市民の健康づくりの取り組みについて協議する場であり、廃止することはできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 事務事業としての類似事業はないものの、市民の健康づくりのための協議会であり、健康増進計画策定委員会と委員が重複するため、令和元年度は統合して実施した。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 関係行政機関、関係団体の代表で組織しており、事業費は報酬及び会議用お茶代のみで削減はできない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 健康づくり推進協議会委員は市医師会長をはじめ、健康づくりに関する各種団体等市民の代表に委嘱しているので公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)																							
(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	令和元年度は、第2次きり健康プラン策定委員会を兼ねるため、各分野から委員を選出し2回開催した。例年の協議事項に加え、昨年に引き続き第2次きり健康プラン(案)について協議した。既存の計画に母子保健計画及び自殺対策計画を追加したため、協議内容が多くなった。プランの進捗状況と開催時期を調整したため、例年より開催時期が遅れた。																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 次年度以降は、5年後に向けての進捗状況管理が必要となる。そのため、経年的及び単年度の事業計画において、更なる重点事業の取組を計画的に実施する。 また、自殺対策計画の推進については、全庁的な取り組みが必要となるため、次年度は市長をトップとした組織を立ち上げ、執行部及び職員の共通理解を図る必要がある。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
(6) 事務事業優先度評価結果	成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項	
(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>